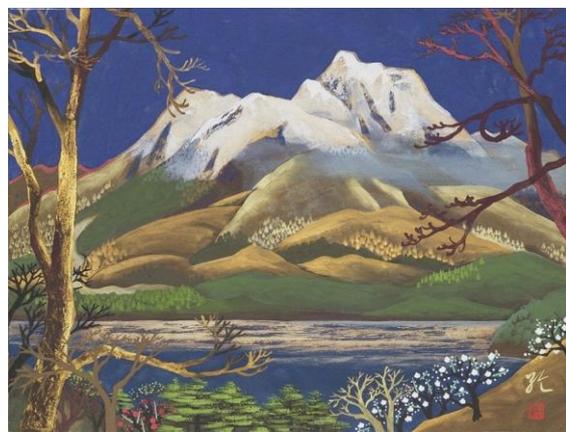
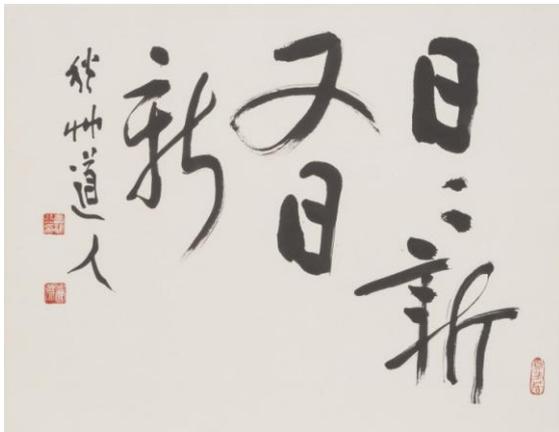


新潟日報社所蔵品による ふるさとの作家たち展

新潟県は、多くの優れた作家を輩出しています。昭和 17 年（1942）に創立した新潟日報社は、半世紀を超える歴史の中で、地域の芸術文化の振興にも力を注ぎ、新潟県出身作家との関わりも深く、美術作品も多数所蔵してきました。

本展覧会では、新潟日報社の所蔵品から、日本画や洋画、工芸、彫刻、書などの様々な分野で活躍した新潟県出身の作家たちの作品を中心にご紹介し、あわせて、新潟にゆかりのある県外作家の作品も紹介します。新潟の美術界をリードしてきた多彩な顔ぶれと、普段見ることのない見応えのある作品をお楽しみください。



展覧会概要

展覧会名	新潟日報社所蔵品による ふるさとの作家たち展
会 期	2014 年 8 月 30 日（土）～10 月 17 日（金）
休 館 日	月曜日（祝日は開館）、9 月 16 日（火） ※9 月 22 日（月）は開館します。
開館時間	午前 10 時～午後 5 時（観覧券販売は午後 4 時 30 分まで）
会 場	新潟市新津美術館 新潟市秋葉区蒲ヶ沢 109-1 花と遺跡のふるさと公園内（新潟県立植物園となり） TEL:0250-25-1300 http://www.city.niigata.lg.jp/nam/

観 覧 料 当日 一般 600 円 大学・高校生 400 円 中学生以下無料
 ※有料 20 名以上の団体は 20%引（割引の併用はできません）
 ※障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料（手帳をご提示ください）
 ※SL ばんえつクーポン持参の方、ニイガタ検定合格者などは割引あり（要証明書提示）

前売券 450 円（一般のみ） 前売取扱期間：8 月 1 日～8 月 29 日

前売取扱場所：インフォメーションセンターえん（メディアシップ 1 F）、NIC 新潟日報販売店、新潟県立近代美術館・新潟県立万代島美術館の各ミュージアムショップ、新潟市美術館、新潟市新津美術館 などで販売

主催 新潟市新津美術館、新潟日報社

共催 B S N新潟放送

後援 NHK新潟放送局、N S T、T e N Yテレビ新潟、UX新潟テレビ21、
NCV新潟センター、エフエムラジオ新潟、FM PORT79.0、FM KENTO、
ラジオチャット・エフエム新津、エフエム角田山ぽかぽかラジオ

◆展示構成

第1部 ふるさとの作家たち

新潟日報社の所蔵品から、ふるさとの作家たちの選りすぐりの作品をご紹介します。

作品数 120点、69作家

第2部 県外出身の作家たち

新潟にゆかりのある県外出身作家たちの作品を、特別出品でご紹介します。

作品数 32点、30作家

特別展示

過去の新潟日報紙面に掲載した新聞挿絵を多数ご紹介いたします。赤塚不二夫「ネコの日ニュース」(1970～71年掲載)、武者小路実篤「夕閑帖」題字のほか、新潟県展図録や雑誌アド・ジャーナルの挿絵など、貴重な資料を展示します。

出品予定作家(五十音順)

※出品作家は、一部変更になる場合があります。

県内出身の作家たち 69作家

會津八一、安宅帛雄、安宅安五郎、五十嵐晴徳、石山恵美子、市橋鷺山、伊藤赤水、伊藤 豊、岩田正巳、岩野勇三、内山 格、浦上義昭、江川蒼竹、大橋廣治、大矢十四彦、大矢 紀、岡田紅陽、小野 末、小柳耕司、加藤僖一、亀倉蒲舟、亀倉康之、河内文夫、北島吾二平、黒井 健、桑原 実、小島丹滢、小山良修、近藤直行、齋藤三郎、齋藤尚明、齋藤満栄、坂口猷吉、笹岡了一、笹谷幸吉、品川工、柴田長俊、白鳥十三、新保兵次郎、関屋俊彦、高井 進、高橋信一、高橋順男、高橋美則、竹内臨川、竹谷富士雄、田代修一、近松一雄、千野 茂、鶴巻三郎、富岡惣一郎、富川潤一、富田温一郎、長井亮之、中澤 茂、長浜数右衛門、羽賀善蔵、浜倉清光、早津 剛、原直樹、原 益夫、星襄一、星野 勇、細野 実、三浦小平二、三浦文治、峰村リツ子、二代 宮田藍堂、三代 宮田藍堂、宮田亮平、三輪晁勢、目黒順三郎、矢部友衛、横山 操、吉田志麻、涌井欽也、渡辺啓輔、渡辺信二、渡辺 徹

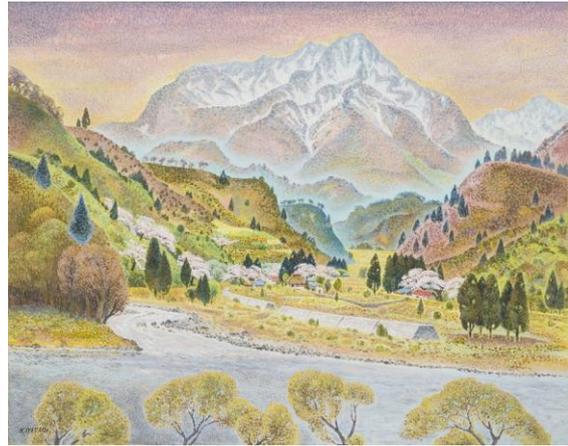
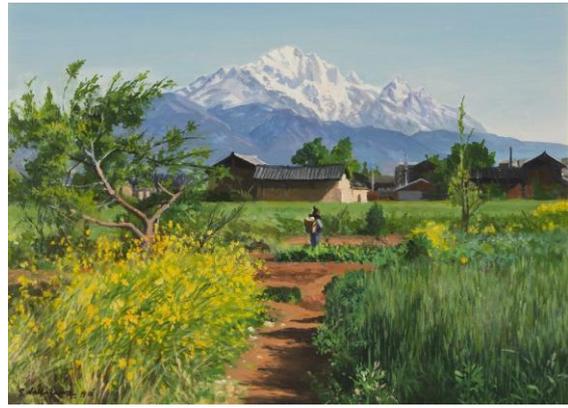
県外出身の作家たち 30作家

青山杉雨、赤塚不二夫、伊東深水、十三代 今泉今右衛門、上村松篁、川崎春彦、六代 清水六兵衛、小堀進、小谷津雅美、関野準一郎、高木典利、田崎広助、田中稔之、豊秋半次、中路融人、中村研一、鍋井克之、野間仁根、萩谷巖、橋本明治、林武、張替正次、平松礼二、吹田文明、藤城清治、三島由紀夫、村上三島、森田曠平、矢崎帛夫、山下清

(新潟県出身作家)

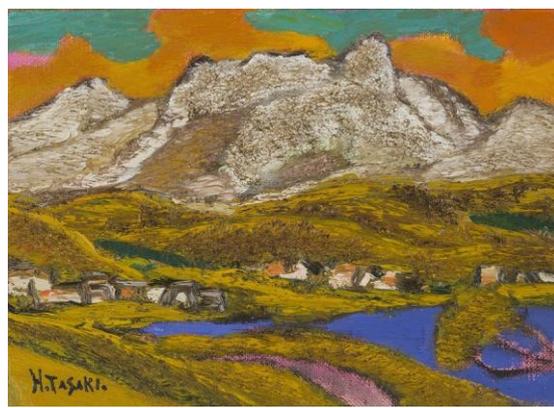


左から) 三輪晁勢《東海の富士》 中澤茂《陽春玉龍雪山》 原益夫《赤とブルーのネックレス》



上：左から）横山操《弥彦山》、三浦文治《夏休み》
下：左から）三浦小平二《青磁花瓶》、千野茂《青果嬢》、小柳耕司《阿賀野里》

(県外出身作家)



上：左から）青山杉雨《三馬之図》、中路融人《富嶽》
下：左から）森田曠平《桃山おとめ》田崎広助《妙高山の新春》

関連イベント

○「作品解説会」

9月14日（日）、10月11日（土） 午前11時～12時

展示会場で、当館館長が作品解説を行います。

申込み不要（直接会場にお越しください。）

参加無料（ただし、当日観覧券が必要です）

解説：新潟市新津美術館 館長 横山秀樹



伊藤赤水《無名異香炉》

○新津美術館職員による「美術講座」

- ・新潟をテーマにした美術講座を、4週連続で行います。

9月13日（土） 新潟の風景 （講師：大森慎子）

9月20日（土） 旧県展と新潟の洋画 （講師：小林一吉）

9月27日（土） 新潟の金工作家たち （講師：小熊千佳子）

10月4日（土） 新潟に生きた日本画家たち （講師：館長 横山秀樹）

各回 13：30～15：00 会場：新津美術館1階レクチャールーム

聴講無料、申込み不要（当日直接会場にお越しください） 定員：30名

◎コレクション展

- ・新津美術館コレクション展 「関屋俊彦・新潟の風景」

2階常設展示コーナーで、コレクション展を開催します。

8月30日（土）～10月17日（金）（休館日、開館時間は企画展に準ずる）

観覧無料、お気軽にご覧ください。

- ・新津美術館「移動美術館」

昨年に続き、新津美術館のコレクションを新潟市江南区文化会館内の展示室で展示します。

9月9日（火）～9月23日（火） 金曜休館

新潟市江南区文化会館内（江南区郷土資料館1F展示室）

午前10時～午後7時（日曜・祝日は午後5時まで）

観覧無料、お気軽にご覧ください。

出品予定作家／石川侃斎、市村三男三、大矢黄鶴、亀倉蒲舟、笹岡了一、佐々木裕久、佐藤昭平、関屋俊彦、長井亮之、中村琢二、代谷実、早津剛、星野勇、村手忠雄、渡辺啓輔
ほか



佐々木裕久《冬の蜃気楼》1999年
（新潟市新津美術館蔵）

○各種サービス

☆「あいてマンデ〜！」

月曜でも開館します。9月22日(月)は「あいてマンデ〜！」

☆「こどもタイム」

毎月第1・第3の木曜・日曜日の10時～13時

会場内にBGMが流れますので、親子で会話を楽しみながらご鑑賞いただけます。

(この時間帯はおお客様のご理解・ご協力をお願いします。)

☆ 無料「託児サービス」

毎月第2・第4木曜・土曜日の10時～12時

無料で利用できますので、お気軽にご利用ください。(要事前申込み)

対象：生後6カ月～就学前のお子様、定員は3名程度です。

利用日の3日前までに、新潟市新津美術館へ電話でお申込みください。電話：0250-25-1300

○新津美術館への交通案内

【徒歩】 JR古津駅から徒歩約25分

【車】 JR新津駅からタクシーで約15分／矢代田駅からタクシーで約5分

(新潟方面から) 国道49号から茅野山ICを国道403号線加茂・新津方面へ(新潟駅から約20km、約45分)

高速道：磐越自動車道・新津ICから約20分。新津西スマートICから約15分

※新津西スマートICは福島方面の出入りはできません。

【バス】 JR新津駅東口バス停から、秋葉区バス「新津駅西口行」に乗車約25分、「美術館・植物園前」で下車、徒歩すぐ。または新潟交通バス「矢代田経由白根・湯東行き」乗車約12分、「新津美術館入口」下車、徒歩約5分。

JR矢代田駅前バス停から、秋葉区バス「新津駅東口行」に乗車約7分、「美術館・植物園前」下車、徒歩すぐ。または新潟交通バス「新津駅行き」に乗車約3分、「新津美術館入口」で下車、徒歩約5分。

※新潟交通バスは時刻が変更になる場合があります。詳しくは、新潟交通観光バス湯東営業所(電話0256-86-3355)へお問合せください。



【お問い合わせ】 新潟市新津美術館

〒956-0846 新潟市秋葉区蒲ヶ沢109-1

電話：0250-25-1300

FAX：0250-25-1303

E-mail：museum.ni@city.niigata.lg.jp

担当 横山秀樹(館長)、小熊千佳子

広報用画像& 読者プレゼント用招待券申込み

本展覧会の作品画像データをご希望の方は、必要事項をご記入の上、新潟市新津美術館までFAXでお申し込み下さい。また、貴社広報物にて当展覧会をご紹介いただき、読者プレゼントをご希望の場合はお申し出ください。(招待券5組10枚まで可能)

※ 写真は本展覧会の広報用として、会期終了までの使用に限らせていただきます。

※ 読者プレゼントの際には、写真を掲載し本展をご紹介ください。また、プレゼントの受付・発送は貴社にてお願いいたします。

※ご掲載誌が発行されましたら、当館までご送付下さいますようお願い申し上げます。

会社名

メディア・部署

ご担当者名

〒

住所

TEL

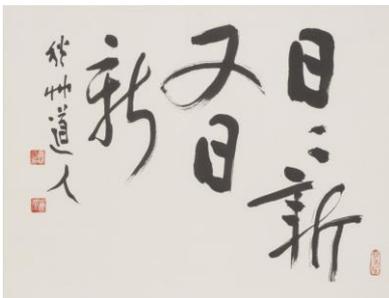
FAX

E-mail

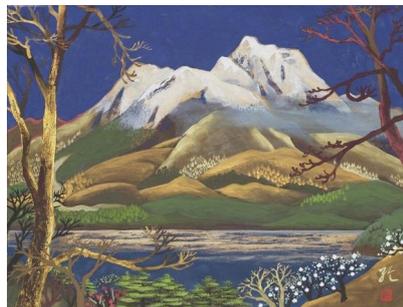
読者用プレゼント用招待券 _____ 枚 希望 ※希望の場合のみ

★希望画像データ (□に✓を入れてください) ※画像トリミング不可

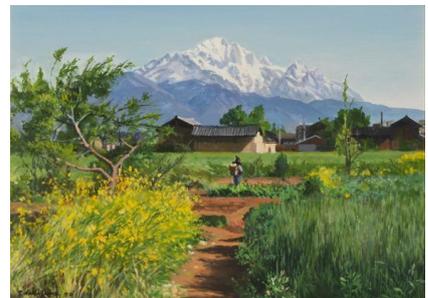
會津八一 《日々新又日新》



大矢紀 《妙高山》



中澤 茂 《陽春玉龍雪山》



三浦文治 《夏休み》



渡辺啓輔 《姫百合など》



原益夫 《赤とブルーのネックレス》



伊藤赤水 《無名異香炉》

